

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 はるやま商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 治山 正史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 岡部 勝之

TEL 086-226-7101

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	13,148	△6.6	△104	—	△73	—	△132	—
21年3月期第1四半期	14,084	—	△259	—	△231	—	△1,289	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△8.13	—
21年3月期第1四半期	△79.27	—

(注)平成21年3月期第1四半期及び平成22年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	57,044	31,653	55.5	1,946.05
21年3月期	59,201	32,037	54.1	1,969.67

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 31,653百万円 21年3月期 32,037百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	15.50	15.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	15.50	15.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	22,664	△4.0	△1,036	—	△950	—	△726	—	△44.63
通期	52,642	△4.3	740	—	927	—	113	—	6.95

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 16,485,078株 21年3月期 16,485,078株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 219,452株 21年3月期 219,452株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 16,265,626株 21年3月期第1四半期 16,266,174株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資の抑制や雇用・所得環境の悪化など、先行きの不透明感が払拭されない状況が続きました。特に衣料品小売市場におきましても、デフレ基調による商品単価の下落に加えて、断続的な消費者の生活防衛意識の高まりにより消費は低迷し、厳しい経営環境となりました。

このような環境のもと、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、前期に実施した不採算事業撤退と不採算店舗の閉店によりグループ全体の売上高は前年同四半期を下回ったものの、不採算部門の撤退によるコスト低減や広告宣伝の効率化により、前年同四半期に比べ利益は改善されました。また、6月に当社連結子会社であるクレジットカード事業を営む日本フィナンシャルサービス株式会社を株式会社ジェーシービーに会社分割する契約の締結や、レディスカジュアルブランドMILLION CARATS(ミリオンカラッツ)を立ち上げるなど、事業の再構築を進めてまいりました。

当第1四半期連結会計期間においては、売上高131億4千8百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業損失1億4百万円(前年同四半期は営業損失2億5千9百万円)、経常損失7千3百万円(前年同四半期は経常損失2億3千1百万円)、第1四半期純損失1億3千2百万円(前年同四半期は第1四半期純損失1億2千8百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(紳士服販売事業)

主力事業であります紳士服販売事業におきましては、「いいもの、欲しいもの、つぎつぎと」をテーマに新商品の開発と販売に注力いたしました。スーツにおいては、繊維一本一本まで撥水撥油効果を持たせて汚れをはじく「クリーンアンドエコスーツ」や、ご家庭の洗濯機で洗えて環境に優しく、クリーニング代も節約できる「洗えるスーツ」、1着で4通りの着こなしが出来る「4WAYスーツ」、また、冷却パッドをスーツの両脇部分に装着した「新アイススーツ」などを開発し、フォーマルにおいては、ユニチカテキスタイル株式会社の開発した新素材を使用した涼しいサマーフォーマルウェア「-7.5℃最涼夏礼服」を開発いたしました。また、クールビズ関連商品として、東洋紡スペシャルティストレーディング株式会社の開発したスポーツ素材をビジネスシャツに取り入れた「iシャツ」を開発し、株式会社リーガルコーポレーションと共同で開発した「脚長シューズ」や、スニーカーのような軽くて疲れない「エアシューズ」などを国内の素材メーカーと共同開発することにより、中、軽衣料の販売にも注力いたしました。

店舗面におきましては、大きいサイズのお店「フォーエル」の出店を強化する一方で、不採算店舗を3店舗閉鎖しました結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗総数は365店舗となりました。

これらの結果、前期に実施した不採算店舗閉鎖の影響と在庫処分や半額セールの前倒しにより客単価が下落したことにより、当第1四半期連結会計期間におきましては売上高129億4千4百万円(前年同四半期比4.9%減)、営業損失3千2百万円(前年同四半期は営業損失1億6千7百万円)となりました。

(カード事業)

紳士服販売事業における多様化した顧客ニーズに的確に対応するとともに、同事業の営業推進部門の強化・支援を主たる目的としてカード事業を展開しております。なお、平成21年6月10日に、事業の採算性の観点から当事業を取り止め、会社分割によって株式会社ジェーシービーに承継する契約を締結いたしました。

当第1四半期連結会計期間におきましては売上高9千4百万円(前年同四半期比6.0%減)、営業利益0百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、当第1四半期連結会計期間の売上高1億9百万円(前年同四半期比70.7%減)、営業利益3百万円(前年同四半期は営業損失1千2百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、業績不振による売上高の減少などにより現金及び預金が減少したことに加え、不採算店舗の閉鎖や減損損失を3千6百万円計上したことによる有形固定資産の減少などの要因により、前期末比21億5千7百万円減の570億4千4百万円となりました。有利子負債は、前期末比5億9千1百万円減の80億1千5百万円となりました。純資産は、2億5千2百万円の期末配当を実施したことや、1億3千2百万円の第1四半期純損失などによる利益剰余金の減少により、前期末比3億8千4百万円減の316億5千3百万円となり、自己資本比率は55.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績は、雇用・所得環境の悪化など、先行きの不透明感などによる消費者の生活防衛意識の高まりから消費が後退したことにより、紳士服販売事業の既存店売上高は予想を下回って推移しております。また、利益面に関しましては、概ね計画通りに推移しておりますので、現時点におきまして平成21年5月15日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループにおいては、事業の性質上、下半期(10月～3月)の売上高、利益が上半期(4月～9月)に比べて大きいという季節的な要因があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,374,199	5,921,993
受取手形及び売掛金	85,686	120,182
営業貸付金	510,549	524,220
商品	11,799,333	11,779,182
貯蔵品	100,617	100,121
その他	4,806,529	5,655,596
貸倒引当金	△1,104	△1,292
流動資産合計	21,675,811	24,100,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,993,883	8,220,229
土地	12,839,553	12,839,553
その他(純額)	921,015	903,257
有形固定資産合計	21,754,452	21,963,041
無形固定資産		
のれん	216,618	230,129
その他	405,902	386,402
無形固定資産合計	622,521	616,532
投資その他の資産		
差入保証金	6,958,618	6,869,990
その他	6,066,694	5,685,439
貸倒引当金	△33,371	△33,253
投資その他の資産合計	12,991,941	12,522,176
固定資産合計	35,368,915	35,101,751
資産合計	57,044,726	59,201,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,266,181	11,233,277
短期借入金	756,000	736,000
1年内返済予定の長期借入金	1,749,495	1,991,496
未払法人税等	60,234	14,538
ポイント引当金	714,707	728,783
賞与引当金	18,450	218,200
店舗閉鎖損失引当金	63,768	96,842
事業整理損失引当金	460,720	460,720
その他	3,791,157	3,483,905
流動負債合計	17,880,714	18,963,763
固定負債		
長期借入金	5,510,211	5,880,127
退職給付引当金	1,380,633	1,344,703
その他	619,478	975,301
固定負債合計	7,510,323	8,200,131
負債合計	25,391,038	27,163,894

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,864,978	3,864,978
利益剰余金	24,097,321	24,481,652
自己株式	△287,627	△287,627
株主資本合計	31,666,041	32,050,371
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,103	△14,882
繰延ヘッジ損益	△249	2,371
評価・換算差額等合計	△12,352	△12,511
純資産合計	31,653,688	32,037,860
負債純資産合計	57,044,726	59,201,755

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	14,084,683	13,148,481
売上原価	6,469,538	5,872,326
売上総利益	7,615,145	7,276,154
販売費及び一般管理費	7,875,074	7,380,646
営業損失(△)	△259,928	△104,491
営業外収益		
受取利息	5,458	8,951
受取配当金	2,699	2,454
受取地代家賃	60,729	66,355
その他	17,141	13,659
営業外収益合計	86,028	91,420
営業外費用		
支払利息	29,505	36,692
賃貸費用	23,402	22,213
その他	4,297	1,921
営業外費用合計	57,205	60,827
経常損失(△)	△231,105	△73,898
特別利益		
投資有価証券売却益	—	62
貸倒引当金戻入額	—	181
賞与引当金戻入額	116,758	99,396
特別利益合計	116,758	99,640
特別損失		
固定資産除売却損	67,684	51,485
減損損失	1,364,157	36,214
事業譲渡損	37,142	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	36,917
その他	2,619	31,304
特別損失合計	1,471,604	155,921
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,585,951	△130,179
法人税、住民税及び事業税	40,386	50,018
法人税等調整額	△336,879	△47,984
法人税等合計	△296,493	2,034
四半期純損失(△)	△1,289,458	△132,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,585,951	△130,179
減価償却費	441,694	378,348
減損損失	1,364,157	36,214
のれん償却額	—	13,511
ポイント引当金の増減額(△は減少)	12,717	△14,076
賞与引当金の増減額(△は減少)	△206,753	△199,750
退職給付引当金の増減額(△は減少)	32,992	35,930
貸倒引当金の増減額(△は減少)	577	△69
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△33,073
受取利息及び受取配当金	△8,157	△11,405
支払利息	29,505	36,692
長期貸付金の家賃相殺額	25,412	24,962
投資有価証券評価損益(△は益)	2,619	1,529
有形固定資産除売却損益(△は益)	37,634	6,072
事業譲渡損益(△は益)	37,142	—
売上債権の増減額(△は増加)	447,191	551,927
営業貸付金の増減額(△は増加)	7,078	13,739
たな卸資産の増減額(△は増加)	78,283	△20,647
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,849	△977,926
経費支払手形・未払金の増減額(△は減少)	△397,907	160,681
その他	△111,547	△175,479
小計	168,840	△302,998
利息及び配当金の受取額	2,792	2,610
利息の支払額	△28,241	△35,199
法人税等の支払額	△564,003	△35,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	△420,612	△371,486
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	47,000
投資有価証券の取得による支出	△15,935	—
投資有価証券の売却による収入	—	87
有形固定資産の取得による支出	△135,805	△270,277
事業譲渡による収入	109,314	—
長期貸付けによる支出	△843	—
長期貸付金の回収による収入	750	1,757
差入保証金の差入による支出	△214,003	△156,616
差入保証金の回収による収入	13,712	125,547
その他	△114,230	△18,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△357,041	△271,354

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△561,898	△607,908
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△17,380
配当金の支払額	△252,660	△252,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	△774,558	△857,953
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,552,212	△1,500,794
現金及び現金同等物の期首残高	5,312,159	5,853,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,759,946	4,352,699

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	紳士服販売 事業 (千円)	カード事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,610,143	100,802	373,737	14,084,683	—	14,084,683
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	62,625	137,525	200,150	△200,150	—
計	13,610,143	163,427	511,262	14,284,834	△200,150	14,084,683
営業利益又は営業損失(△)	△167,243	△3,426	△12,727	△183,397	△76,531	△259,928

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	紳士服販売 事業 (千円)	カード事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,944,190	94,748	109,541	13,148,481	—	13,148,481
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	30,000	208,352	238,352	△238,352	—
計	12,944,190	124,748	317,893	13,386,833	△238,352	13,148,481
営業利益又は営業損失(△)	△32,627	415	3,714	△28,497	△75,994	△104,491

(注) 1. 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要な内容

紳士服販売事業…スーツ、ジャケット、スラックス、カジュアル等の衣料品販売

カード事業…クレジットカード業

その他事業…100円ショップ事業、広告代理業等

3. 前第1四半期連結累計期間におけるその他事業には、インターネットカフェの運営を含めておりましたが、平成20年6月末をもって事業譲渡したため、当第1四半期連結累計期間にはインターネットカフェの運営は含まれておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。